

高齢者・障害者に情報を届けるシーン

(イメージ)

別紙7

自宅への訪問時に



民生委員、ケアマネジャーや
社会福祉協議会職員、
身体障害者相談員等の
定期的な訪問、老人クラブの
「友愛訪問」等の中での話題
として

集会所やサロンなどで

社会福祉協議会の
「ふれあいいきいきサロン」、
認知症高齢者の家族の
集まり、
地域ボランティアによる集会
等における話題として



届けるシーン

家事援助などのときに

ヘルパーの普段の活動や
社会福祉協議会の小地域
ネットワーク活動(買い物
手伝い等)の中での話題
として



福祉施設などで

デイサービスなどの
福祉施設における介護や、
授産施設等の
中での話題として



高齢者・障害者見守りボランティアの育成(イメージ)

高齢者・障害者見守りボランティア(市民講師)は、高齢者・障害者やその家族、周りの方々、近隣の住民等への啓発活動を担当

高齢者・障害者見守りボランティア (市民講師)育成のための教室



クリーニング、オフの書き方については...

へえ、知らなかったわあ。今度、ご近所の集まりの時に、みなさんに教えてあげよう。



(悪質事業者役)。もしもし、あなただけ特別に...

(高齢者・障害者役)いません！必要ありません！

ここでは、悪質業者と高齢者・障害者に分かれて断り方を教える練習。



みなさん、悪質業者の手口はですねえ、「さあ、これ10円、欲しい人！？」と、いつて手を挙げさせるんですよ！それを繰り返すことで興奮状態に陥らせ、高いものを契約させてさうんですよ。



みなさん、わかりましたかあ？！ねえ！。

はい、わかりました！

すごくいい勉強わあ。

ご近所の集まりなどで